



2017年3月30日  
一社) チャデモ協議会

## CHAdeMO 協議会 高出力充電などの技術展示会を開催

一般社団法人チャデモ協議会（本社：東京都港区、会長：志賀俊之、代表理事 岡本浩）は30日、電動車両の急速充電規格を改定し、従来より高出力の充電が可能になったと発表しました。チャデモ協議会は本発表に合わせ、三重県伊勢市において技術展示会を行い、同協議会が開発した V2X 機能および新型検定器の展示とともに、高出力充電のデモンストレーションを行いました。

今回の技術展示会で紹介した技術の詳細は以下の通りです。

### 高出力充電

これまでのチャデモ規格と呼ばれる直流型急速充電規格は、最大電圧 500V、最大電流 125A と定められていましたが、今回その規格を改訂\*し、最大電圧 500V、最大電流 400A の出力を可能としました。この改訂により、従来 50kW であった実効充電出力を 150kW まで向上させることが可能となり、おおよその目安ながら、充電時間を従来の 3 分の 1 にすることができます。

この出力レベルの充電器の実機を使ったデモンストレーションは世界で初めてとなります。

\*新たなチャデモ規格 ver1.2 は 2017 年 3 月 24 日に改訂、発行しました。



## V2X 技術

車両に搭載する蓄電池の電力、あるいは燃料電池などで発電した電力を外部に給電する機能です。この技術はレジャーでの電力使用、家に給電することによる省エネ効果向上などに加え、非常時の電源としての価値ともなり、今後のスマートグリッドにおける分散電源という要素技術としても非常に注目されています。

今回のデモンストレーションでは、電力線に繋がっていない状態の燃料電池車、プラグインハイブリッド車、電気自動車の 3 つの異なる電動車両から供給される電力で様々な電気製品等を稼働させ、効果を確認いただきます。



Power Exporter 9000

## 新型検定器

充電または給電時に一番重要な安全性、次に重要な互換性（電動車両の車種と充電器の機種を選ばず充電、給電できること）を確保するために、チャデモ協議会ではチャデモの認証、検定制度を導入しています。本制度はこれまで、日本国内を中心に行っていましたが、今後チャデモ検定を世界に広く普及させるため、小型で安価な検定器を開発し、販売を開始することとしました（予価；300万円）。本検定器は、既にアメリカ、インドなどから受注があり、チャデモ規格の世界的な普及加速を後押しするものと期待しています。



以 上

ご参考；弊会ホームページ；

<https://www.chademo.com/wp2016/pdf/japan/press0330.pdf>

本件に関するマスコミからのお問い合わせは、  
一社）チャデモ協議会事務局（TEL：03-6205-4577）までお願い致します。